



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <https://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 堀 信幸

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,359	△6.1	11	△91.4	35	△75.4	55	△51.0
2023年3月期第2四半期	3,578	△1.5	135	△23.2	143	△19.2	112	△16.8

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 93百万円 (△57.5%) 2023年3月期第2四半期 220百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	12.15	—
2023年3月期第2四半期	24.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	9,598	4,954	51.6	1,086.51
2023年3月期	9,387	4,889	52.1	1,077.92

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 4,954百万円 2023年3月期 4,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,109	△1.3	155	△16.3	170	△12.7	150	△26.1	32.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,618,520 株	2023年3月期	4,618,520 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	58,128 株	2023年3月期	82,157 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,548,378 株	2023年3月期2Q	4,536,363 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは「私たちが人を豊かにしてグローバル社会貢献度が高い技術会社になる」ことを未来に通ずる姿とし、2030年を見据えた「AR-2030VISION」を定めております。当連結会計年度は「AR-2030VISION」の実現に向けて2023年4月からスタートした第14次三カ年中期経営計画の初年度になります。中期経営方針として「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」を掲げ、これまで以上に柔軟かつ好奇心旺盛な思考で行動し、事業活動を通じて様々な方々と一緒に未来につながるカタチをつくってまいります。

当社グループの重点事業分野を「光学事業」、「医療・ライフサイエンス事業」、「機能事業」、「通信事業」の4つとし、事業展開を進めるうえで、独自の競争力の源泉となるコア技術である「色と光のコントロール技術」「素材変性技術」「表面改質およびマイクロ加工技術」に、それぞれの事業分野に成長のキーワードとなる視点を加えて、ゴムが有する無限の可能性をさらに進化させる活動を進めております。また研究開発活動としては、医療・ライフサイエンス事業の理化学機器分野で応用可能な表面改質材料の開発、新事業のマーケティング活動を継続して注力しており、それぞれの分野に長けた研究機関との連携で早期実現化を推進します。

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、経済社会活動の正常化が進んだことにより需要が緩やかな回復基調になりました。一方、流通在庫の調整や原材料及び電力料などエネルギー価格の高止まりなど、依然として事業活動に様々な影響を与えました。この中で当社グループは、当期経営方針に「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」を掲げ、お客様の要望に素早く応える計画的な生産活動や事業の魅力を高めて貢献する機会を増やす活動を展開し、各重点事業分野への施策を積極的に進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は工業用ゴム事業の販売が減少したことから連結売上高は33億5千9百万円（前年同期比6.1%減）となりました。利益面においては売上減少等により、連結営業利益は1千1百万円（前年同期比91.4%減）、連結経常利益は3千5百万円（前年同期比75.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千5百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車向けで受注は回復傾向にあるものの在庫調整等の影響により、内装照明用光源のASA COLOR LEDなどの売上高が減少しました。一方で、卓球ラケット用ラバーは前連結会計年度から好調が続き売上高は増加しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は26億2千2百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。セグメント利益は8千6百万円（前年同四半期比62.3%減）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジ用ガスケットや採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が堅調であったことやARチェックバルブなど医療用逆止弁の受注が増加するなど、診断・治療向けの製品の売上高が増加しました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は7億3千7百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。セグメント利益は製品の販売構成や試作コストの増加等により5千4百万円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて2億1千1百万円増加し、95億9千8百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金、投資有価証券売却による投資その他の資産のその他が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億4千6百万円増加し、46億4千3百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて6千5百万円増加し、49億5千4百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

また、当社グループでは各事業の受注状況に基づき、生産能力を検討し設備投資を実施、また新たな事業分野への研究開発投資を積極的に実施しております。その必要資金については財政状態の良化を鑑みながら、主に売上代金及び金融機関からの借入金による調達を基本としております。

なお、当第2四半期連結会計期間末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は21億7千9百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、定期預金の払戻による収入の増加および、投資有価証券の売却による収入により、前第2四半期連結会計期間末に比べて9億3千5百万円増加の19億6千万

円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは3億1千7百万円の収入（前年同四半期は1億4千5百万円の収入）となりました。

これは主に仕入債務の減少額1億5千4百万円（前年同四半期は8千6百万円の減少）等があったものの、減価償却費2億1百万円（前年同四半期は2億3百万円）、売上債権の減少額1億7千9百万円（前年同四半期は1億4千6百万円の増加）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億9千6百万円の収入（前年同四半期は4千万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の預入による支出1億4千万円（前年同四半期は1億2千万円の支出）、有形固定資産の取得による支出1億5千5百万円（前年同四半期は6千7百万円の支出）があったものの、定期預金の払戻による収入4億7千6百万円（前年同四半期は1億5千1百万円の収入）、投資有価証券の売却による収入2億7千4百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億2千9百万円の収入（前年同四半期は8千4百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出4億2千4百万円（前年同四半期は5億3千6百万円の支出）、配当金の支払額4千5百万円（前年同四半期は4千5百万円の支払額）があったものの、短期借入金の純増加額3億円、長期借入れによる収入4億円（前年同四半期は5億円の収入）等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月8日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通期の連結業績予想から変更しております、詳細は本日公表いたしました「2024年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,181	2,721,144
受取手形及び売掛金	1,641,039	1,392,167
電子記録債権	229,346	315,072
商品及び製品	536,606	426,302
仕掛品	360,772	371,039
原材料及び貯蔵品	253,989	241,093
その他	64,933	76,513
貸倒引当金	△1,536	△1,339
流動資産合計	5,073,333	5,541,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,148,747	1,118,486
機械装置及び運搬具（純額）	1,176,732	1,205,823
土地	864,643	864,643
その他（純額）	163,006	184,413
有形固定資産合計	3,353,128	3,373,366
無形固定資産	63,232	62,589
投資その他の資産		
その他	897,777	621,071
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	897,337	620,631
固定資産合計	4,313,698	4,056,587
資産合計	9,387,032	9,598,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,830	250,711
電子記録債務	617,069	499,319
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	790,903	813,478
未払法人税等	21,255	23,658
その他	662,543	645,072
流動負債合計	2,367,601	2,532,240
固定負債		
長期借入金	1,111,895	1,065,146
役員株式給付引当金	16,965	2,794
退職給付に係る負債	978,092	1,021,185
その他	22,618	22,316
固定負債合計	2,129,571	2,111,441
負債合計	4,497,173	4,643,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	465,112	462,350
利益剰余金	3,703,163	3,712,781
自己株式	△54,801	△35,063
株主資本合計	4,630,344	4,656,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,345	66,855
為替換算調整勘定	156,094	203,432
退職給付に係る調整累計額	29,074	27,673
その他の包括利益累計額合計	259,514	297,961
純資産合計	4,889,858	4,954,899
負債純資産合計	9,387,032	9,598,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,578,671	3,359,385
売上原価	2,692,693	2,634,333
売上総利益	885,977	725,051
販売費及び一般管理費	750,775	713,373
営業利益	135,201	11,678
営業外収益		
受取利息	189	326
受取配当金	3,853	3,977
保険解約返戻金	4	9,997
雑収入	10,312	14,735
営業外収益合計	14,359	29,036
営業外費用		
支払利息	3,647	3,387
障害者雇用納付金	1,174	1,186
雑支出	860	720
営業外費用合計	5,682	5,293
経常利益	143,878	35,420
特別利益		
固定資産売却益	996	73
投資有価証券売却益	—	56,930
受取保険金	9,800	—
特別利益合計	10,796	57,003
特別損失		
固定資産除却損	1,776	3,124
投資有価証券売却損	—	10,529
その他	—	2,421
特別損失合計	1,776	16,075
税金等調整前四半期純利益	152,899	76,349
法人税等	40,040	21,076
四半期純利益	112,858	55,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,858	55,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	112,858	55,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,752	△7,490
為替換算調整勘定	111,232	47,338
退職給付に係る調整額	△78	△1,401
その他の包括利益合計	107,402	38,446
四半期包括利益	220,261	93,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,261	93,719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	152,899	76,349
減価償却費	203,019	201,738
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	46	△196
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,076	38,505
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,838	2,804
受取利息及び受取配当金	△4,042	△4,304
支払利息	3,647	3,387
有形固定資産売却損益 (△は益)	△996	△73
有形固定資産除却損	1,776	3,124
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△46,400
補助金収入	—	△3,171
売上債権の増減額 (△は増加)	△146,945	179,652
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,003	123,492
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86,873	△154,919
その他	64,374	△90,222
小計	180,818	329,767
利息及び配当金の受取額	4,029	4,297
補助金の受取額	—	3,171
利息の支払額	△3,732	△3,435
法人税等の支払額	△35,174	△16,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,940	317,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△140,000
定期預金の払戻による収入	151,301	476,277
有形固定資産の取得による支出	△67,296	△155,006
有形固定資産の売却による収入	996	150
無形固定資産の取得による支出	△946	△5,680
投資有価証券の売却による収入	—	274,584
投資有価証券の取得による支出	△637	△648
その他	△4,233	46,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,816	496,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	300,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△536,279	△424,174
配当金の支払額	△45,521	△45,144
その他	△2,855	△821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,655	229,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,199	25,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,668	1,069,240
現金及び現金同等物の期首残高	956,275	890,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,024,943	1,960,144

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
日本	2,275,230	494,404	2,769,634
アジア	554,479	200,836	755,316
北米	48,735	21	48,757
ヨーロッパ	4,962	—	4,962
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,883,408	695,262	3,578,671
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,883,408	695,262	3,578,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,883,408	695,262	3,578,671
セグメント利益	229,096	71,307	300,404

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	300,404
全社費用（注）	△165,203
四半期連結損益計算書の営業利益	135,201

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
日本	1,988,741	516,184	2,504,925
アジア	568,012	220,369	788,381
北米	58,315	188	58,503
ヨーロッパ	7,294	279	7,573
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,622,363	737,021	3,359,385
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,622,363	737,021	3,359,385
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,622,363	737,021	3,359,385
セグメント利益	86,427	54,621	141,049

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	141,049
全社費用（注）	△129,371
四半期連結損益計算書の営業利益	11,678

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。